

3月議会の一般質問で主張したかった事を要約しました。実際のやり取りはQRコードを読み込んで頂き動画でご確認下さい。



Topic01 不登校について

30日以上の不登校者数

不登校の理由

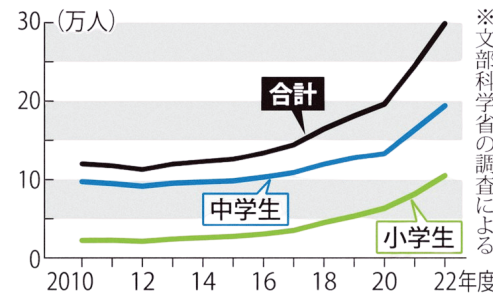
	小学生	中学生
R2年度	24	60
R3年度	37	74
R4年度	29	97
R5年度	43	88

やる気が出ない	34.2%
不安・抑鬱	25.3%
生活リズムの不調	20.5%
いじめの被害	0.7%

生徒総数

小学校	15校	約2800人
中学校	5校	約1500人

不登校の小中学生数の推移



◎令和6年の全国小中学生の不登校数は34万人を超えました。5年前と比べて2倍以上に増えていますので異常事態だと思います。2020年からのコロナ自粛が一番大きい要因だと考えられますがもう一つ大きな変革がありました。2017年に施行された「教育機会確保法」の影響です。教育機会確保法を簡単に説明すると、『無理して学校に行かなくて良い、学校復帰を目的としない』『多様な学びの場を作る』この2点があります。不登校生徒の選択肢が増える大切な理念ではあるのですが、実際は不登校生徒の受け皿が作られないまま「学校に無理に行かなく良い」が先行し過ぎていているように感じます。いじめや人間関係が原因で学校にいけない場合にはその原因をしっかりと改善していかななくてはならないと思います。問題は「やる気がでないから学校に行きたくない」という場合に親が「無理に行かなくて良いよ」となり過ぎてているケースもあると思います。長期間不登校になれば授業についていくのも難しくなり更に学校に行きたくなくなります。99%が高校に進学する中、不登校生徒の高校進学率は85%です。子どもの未来の選択肢が多少なりとも狭まります。出来れば学校に登校できるように考えて頂きたいです。提案としては2点です。『多様な受け皿を作る』『強制的とは言わないが今より少しだけ学校に登校するように促す』難しいバランスになると思いますが、学校と家庭が協力してこれ以上不登校生徒が増えないようにしていかななくてはならないと考えています。

Topic02 バリアフリーについて

◎先日、知人から旭市には車いす利用者が住める賃貸物件がほとんどないからなんとかした方が良くぞ、と提言を頂きました。市営住宅で車いす利用者が入居できる物件は萩園住宅があります。単身だと不可だったりしますが、まったくない訳ではないようです。民間はメリットがなければ障害者向けアパートを作りませんので、増やそうとするならばなんらかの施策が必要になります。移住を検討している方が物件がないから諦める事がないように方向性を考えていくべきだと思います。

これから障害者、高齢者など賃貸物件を探すのが難しい層が増えていきます。その方たちが住まいを確保できるような街づくりを期待しています。



Topic03 個別避難計画について

◎個別避難計画とは、災害発生時に一人で避難する事が困難な障害者、高齢者が「誰と（支援者）」「どうやって（避難手段）」「どこに（避難先）」避難するか、あらかじめ決めておく計画の事です。本市には対象者が約4000人いて作成を終えている方が約1400人です。いざという時の備えになりますし、行政が想定する時の細かいデータになります。対象者には3月頃に申請書が行きますのでご協力お願いします。作成されたデータは警察、消防、関係する民生員だけで共有しますのでプライバシーの問題もご安心ください。



Topic04 通学路の安全について



◎近所のマダムから通学路が暗いから明るくして欲しいという相談がありました。車のドライバーからも夜の自転車が危険だというご指摘を頂いております。市で管理している街灯は3種類あります。通学路を明るくするためには防犯灯があります。新しい場所に防犯灯を設置したい場合は、各地区の要望として区長を通じて申請をしていただいています。設置や修繕は市が負担しますが、電気料金は区が負担する事になります。通学路は他の地区にもまたがりますので町内の要望だけでは問題解決にはなりません。見通しの悪いカーブなどには街路照明灯などを設置していただき通学路の安全を確保して頂きたいと思います。照明ですべてをカバーする事は難しいので自転車や体に反射板を身に付け自動車からの視認性を高める施策も合わせてやっていくべきだと思います。

それと飯岡バイパスは真っ暗です。歩道は草で通れない場所もあるので抜本的な改革が必要だと感じました。国道沿いに店舗や営業所が増えれば草も減るし明るくもなります。バイパス沿いの開発は難しいとあきらめるのではなく、何か方法がないか考えていきたいと思っています。

Topic05 ふるさと納税について

◎旭市のふるさと納税 令和4年度 1億1918万円 令和5年度 2億1027万円
 銚子市のふるさと納税 令和4年度 2億9000万円 令和5年度 7億円

銚子が大きく伸びた理由に「訳あり商品」を多く取り入れた事も要因にあると思います。旭市も令和7年度から商品開発とPRが得意な中間業者に見直しを検討しています。

ふるさと納税を増やす手段として職員や市長にPRをして頂く必要があると思います。名刺に旭市のふるさと納税のページにリンクするQRコードを印刷することや、市長に積極的に本市の魅力を企業に伝えていただき、企業版ふるさと納税を少しでも増やして頂きたいです。





市民の声



『防災林について』

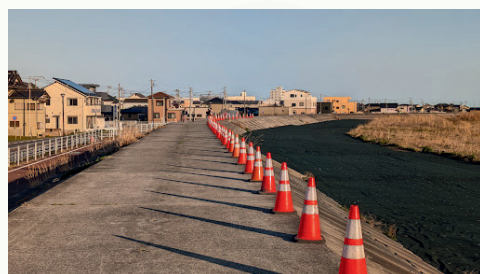
飯岡の堤防沿いに防災林を作る計画が動き出しました。下永井海岸から平松にかけて750メートルに植樹します。期間は5年間で予算総額は2500万円です。

メリット

①堤防が補強される②津波の到着時刻を遅らせる③引き波の時に引っかかる④塩害軽減
デメリット

①堤防の上からも海が見えない②砂浜から堤防に上られる場所が減る

9種類の木が1㎡あたり3本植えられます。10年前に植えられた平松の試験林と同じ密度です。松などの高くなる木は堤防沿いには植えられないように配慮があるそうです。



植える前の堤防沿い



平松の試験林

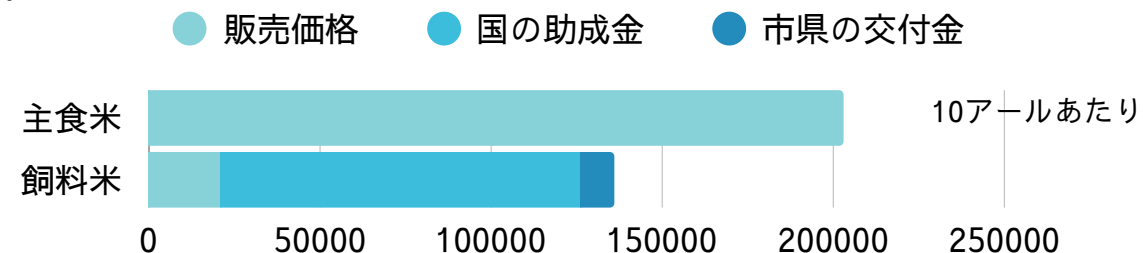
海がまったく見えなくなります。現在でも車道から海は見えませんが、防災林が完成すれば堤防の上に乗っても海が見えなくなります。堤防の上に腰をかけて沈む夕日を眺める事もできなくなります。花火も見づらくなるでしょう。景観より人命の方が大事だと言われればそれまでですが、何事にも程度がございます。海拔7メートルの堤防を作ったのだから防災林は無くても良いのではないかと考えてしまいます。大きな地震が来たら高台に逃げる、警報が解除されるまでは戻らない、これを語り継ぎ徹底することこそ防災、減災につながると思います。

予算が計上されてから1か月間、多くの方にこの件について意見を聞きました。ほとんどの方が防災林に反対でした。私の説明にバイアスがかかっているのでは正確なアンケートではありません。しかし、過半数が賛成しているようには感じないのです。

この計画を中止しろとは言いません。一度でいいので住民アンケートを取っていただけないでしょうか。行政側のメリットをしっかりと説明していただき、公正な視点で民意を測って欲しいのです。決めたことを実行するのは大事です。ふにゃふにゃと意見が変わってしまうのは良くない事です。しかし、過半数の民意が反対であるならば、立ち止まって話し合うのも勇気なのではないでしょうか。（過半数が賛成だったらごめんなさい）

国政に物申す

米の値段が上がり続けている。5キロ4500円は高すぎる。このままでは、米離れや外国米の輸入が進んでしまう。当初は買占めや流通の目詰まりのせいにされていたが、実際は需給見通しが間違えていた事が一番の原因ではないだろうか。そもそも700万トンの需要が見込まれているのに生産量が670万トンなのだから値段が高くなるのは当たり前だ。日本は減反政策をお金をかけてやってきた。米価を維持するためだ。今は減反政策は無くなったと言っているが転作に補助金を付ける事によって間接的に主食米の生産量を減らしている。

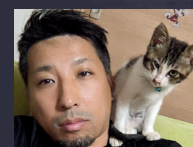


国は主食米から別の物に転作するのに3000億円を投入している。旭市でも飼料米を推進するために市から1億4000万円の予算をつけている。米が足りないと言われているのに税金を投入して家畜の餌を作っている現状に疑問を持つ市民も多いと思う。長期的な視点で見れば米の需要は減っていき、水田を守るためには必要だったと理解している。しかし、ここ2年の米価の動向を見れば他の政策もありえるのではないだろうか。

まず、主食米を生産調整をせずに作る。余った分は海外に輸出する。値段が下がった分は、個別保障 or 生産機械に補助金を出すなど補填する。小さい米農家には大変申し訳ないが大規模化して効率化を目指す。専門家や当事者からすれば馬鹿な事を言うなと笑われるかも知れないが、消費者は「安い米」と「持続可能な食糧安全保障」という両方を求めている。今のままでは不可能だ。少し無理をしてでも構造を変えなければ食料自給率も米の生産量も下がってしまう。大胆な変革を政府には求めたい。

この討議資料は議員個人が発行しております。ご意見、感想、苦情などがございましたらお気軽にご連絡下さい。この資料に関する市役所へのお問い合わせはご遠慮下さい。

表面をリニューアルしました。相変わらず文字が小さく読みづらいと思いますが虫メガネなどを駆使して読んでください。



最近、散歩をしています。
不審者のような格好で歩いています

発行元

旭市議会議員

永井孝佳

〒289-2706

千葉県旭市下永井574-1

090-9332-1632

bbnagai@yahoo.ne.jp

令和7年5月 第15号